



心の教育の充実のために

令和5年度が始まり、早くも1か月が経とうとしています。保護者の皆様には本校の教育活動にご協力いただき、感謝しております。本校の道徳教育を一層推進していくために、道徳通信『～心と心が響き合う～』を通して、保護者の皆さんに、本校の「特別の教科 道徳」の授業の様子や道徳的活動をお伝えできればと考えています。この通信を通して、お子様とご家庭で話をしていただき、学校、家庭が連携し、心豊かな子供を育てていければと思っています。何卒よろしくお願い致します。

○令和5年度八石小学校の道徳教育の全体計画

校長の道徳教育の方針
<ul style="list-style-type: none"> 自己を見つめ、多面的・多角的に物事を捉え、自分の生き方について考えを深めることのできる児童を育成する。 よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
道徳教育全学年の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場になって考え、温かい心で接する子 (B 親切、思いやり) 自他の命を大切にする子 (D 生命の尊さ)

低学年・中学年・高学年別重点目標			
低学年	中学年	高学年	特別支援学級
温かい心で接し、親切にする子 (B 親切、思いやり)	相手のことを思いやり、進んで親切にする子 (B 親切、思いやり)	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする子 (B 親切、思いやり)	友達に優しくする子 (B 親切、思いやり)
生きることのすばらしさを知り、生命を大切にする子 (D 生命の尊さ)	生命は多くの人々に支えられ、育まれていることを知り、生命あるものを大切に にする子 (D 生命の尊さ)	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重する子 (D 生命の尊さ)	命を大切に する子 (D 生命の尊さ)
	集団で行動することを大切にし、学校生活をよりよくしようとする子 (C よりよい学校生活、集団生活の充実)	一人ひとりが働くことのよさや大切さを知り、みんなのために働こうとする子 (C 勤労、公共の精神)	自分のことは、自分でできる子 (A 善悪の判断、自律、自由と責任)

今年度も昨年度に引き続き、「親切、思いやり」と「生命の尊さ」を各学年の重点目標に設定し自他の命を大切に、相手意識をもって接することができる子の育成を目指して教育活動を行っていきます。また、本校では、子供たちの自己肯定感・自己有用感育成のため、以下の取り組みを行っていきます。

1 成功体験の場の設定

- 行事、係活動を通して、意図的・計画的に行う。
- 成長や頑張りを本人と保護者に伝える。

2 愛情を注ぐ

- 心を込めて褒め、叱る。
- 叱ったあとはできる限り日をおくことなく、よかった点・がんばった点を認める。(見届け)

このような取り組みを通し、子供たちに安心して学校生活を送らせ、心を豊かにしていきます。

○「特別の教科 道徳」の様子

6年2組での『ほんとうのことだけど(善悪の判断・自律・自由と責任)』の授業の様子

※本時の学習は以下の視点で進めました。

- ・自由と自分勝手は違うもので、自分の自由を尊重するあまり、他人に迷惑をかけてはいけないという視点。
- ・自由にも許されることと、許されないことがあるという視点。

友情・信頼の目標

低学年・・・よいこととわるいこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。

中学年・・・正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。

高学年・・・自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。



◎子供たちの振り返り

- ・今回、誰かが傷つく内容の記事にしようとしていたから、皆が楽しめるような記事を書くべきだった。
- ・誰にとっても楽しめる記事にするべきだった。
- ・自由といっても、制限がある。制限無し of 自由は自分勝手だと思う。
- ・他人が嫌がることは、自由とは言えない。